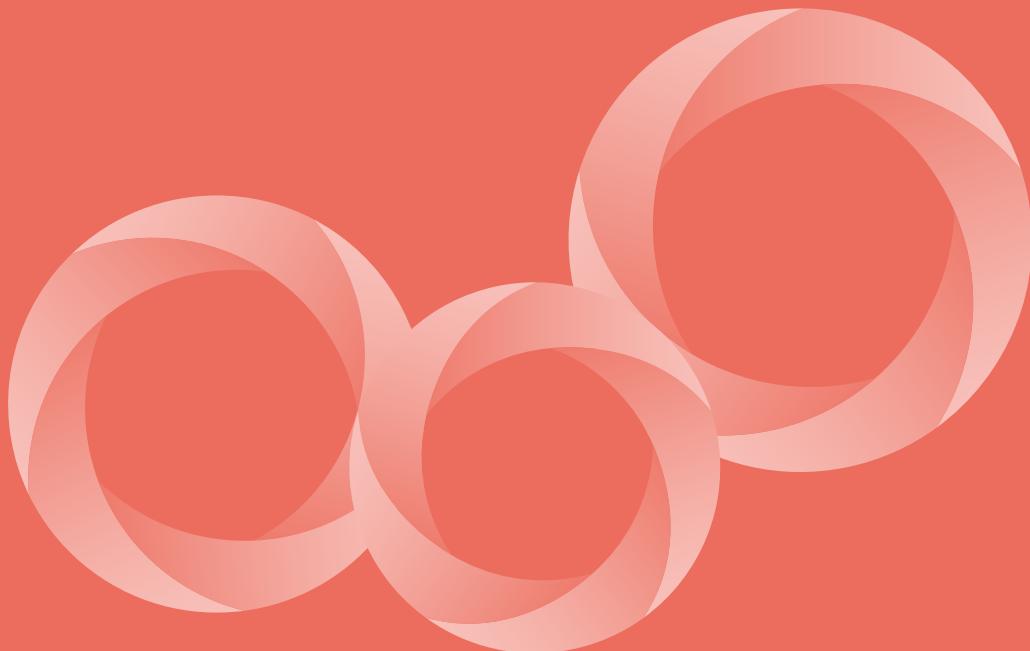


第61回 三重県透析研究会学術集会

プログラム



会期 令和7年 2月9日㈰

会場 三重県総合文化センター
多目的ホール

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234

当番幹事 三宅 真人

JCHO四日市羽津医療センター 腎臓内科

第61回

三重県透析研究会学術集会

プログラム

会期 令和7年 2月9日回

会場 三重県総合文化センター
多目的ホール

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234

当番幹事 三宅 真人
JCHO四日市羽津医療センター 腎臓内科

ご案内

参加者の皆様へ

◆参加受付

場 所：三重県総合文化センター 男女共同参画センター 1階 多目的ホール前

時 間：2月9日（日）9:20～15:00

参加費：医師2,000円、コメディカル500円、学生無料（学生証を持参してください）

座長の皆様へ

- ・ご担当セッションの30分前までに座長受付にお越しいただき、評価シートをお受け取りください。セッション終了後は評価シートを受付までお持ちください。
- ・ご担当セッション開始の10分前までに次座長席周辺にご着席ください。
- ・限られた時間内に発表が円滑に進むようご配慮ください。

発表者の皆様へ

◆PCスライド受付

場 所：三重県総合文化センター 男女共同参画センター 1階 多目的ホール前

時 間：午前のセッション 9:20～9:45 ／ 午後のセッション 9:20～13:00

- ・混雑する場合は午前中のセッションの受付を優先する場合がございますのでご了承ください。
- ・混雑が予想されますので余裕をもってお越しください。

◆発表について

- ・発表時間は1演題10分（発表6分、討論4分）です。時間を厳守してください。
- ・次発表者は指定された席（次発表者席）に必ずご着席ください。
- ・発表はPower Pointによるプレゼンテーション（Windows）、ファイルはUSBメモリーでお持ちください。PC持ち込み、Macintoshは不可です。
- ・会場ではWindows10、Power Point 2019がインストールされたPCを使用します。
- ・スムーズな進行のため、発表者ツールの使用はお控えください。
- ・動画を使用される場合は動作不良を起こす可能性がありますので、各自動作確認を行ってからお持ちください。念のため、動画を使用しないスライドもご用意ください。

質問・討議をされる方へ

ご所属、ご氏名を告げてから質問・討論を始めてください。

学会認定等のポイントについて

本学術集会への参加により、以下の単位が取得できます。

- (1)一般社団法人日本透析医学会 専門医制度委員会が認める地方学術集会（5単位）
- (2)日本腎不全看護学会 慢性腎臓病療養指導看護師（CKDLN）（6ポイント）

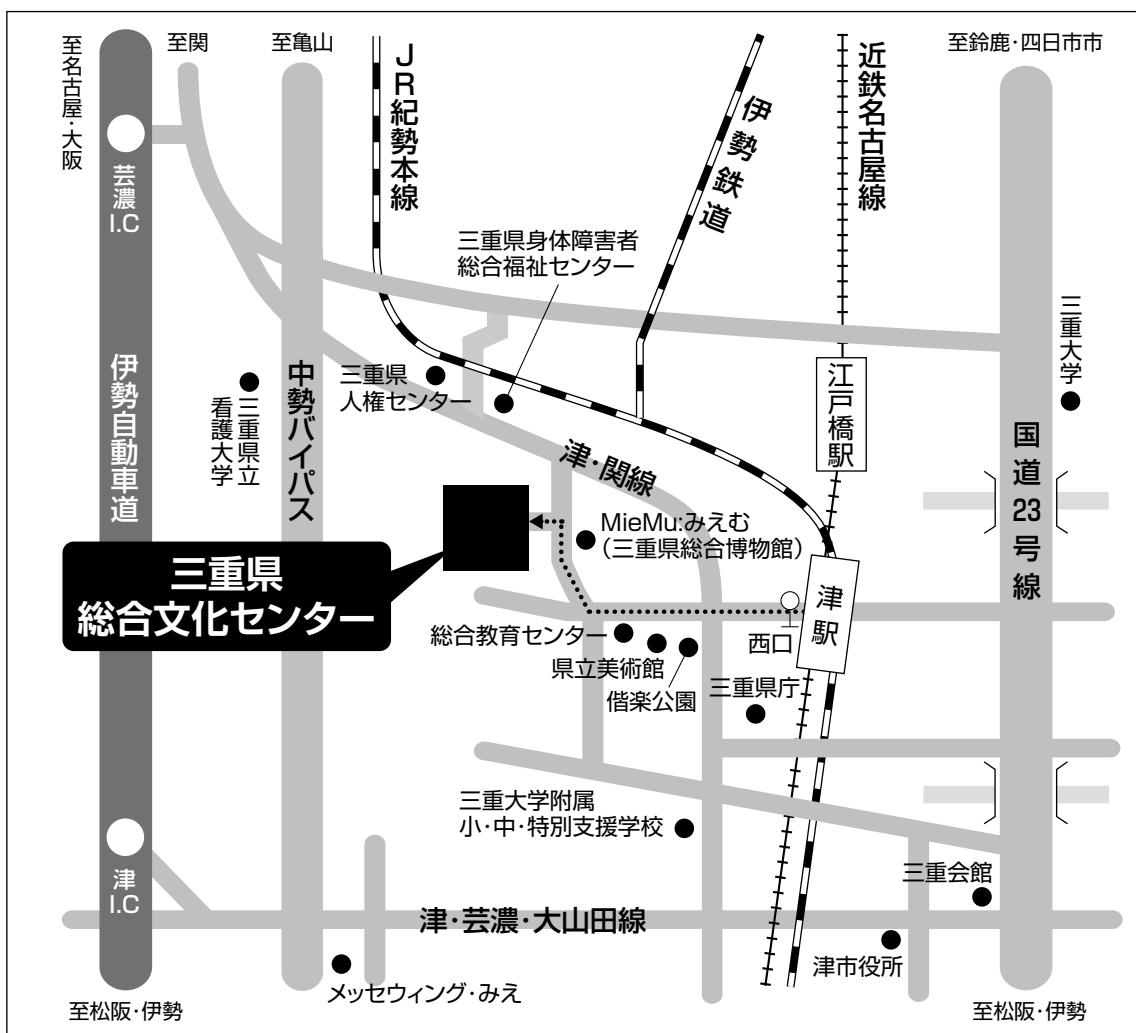
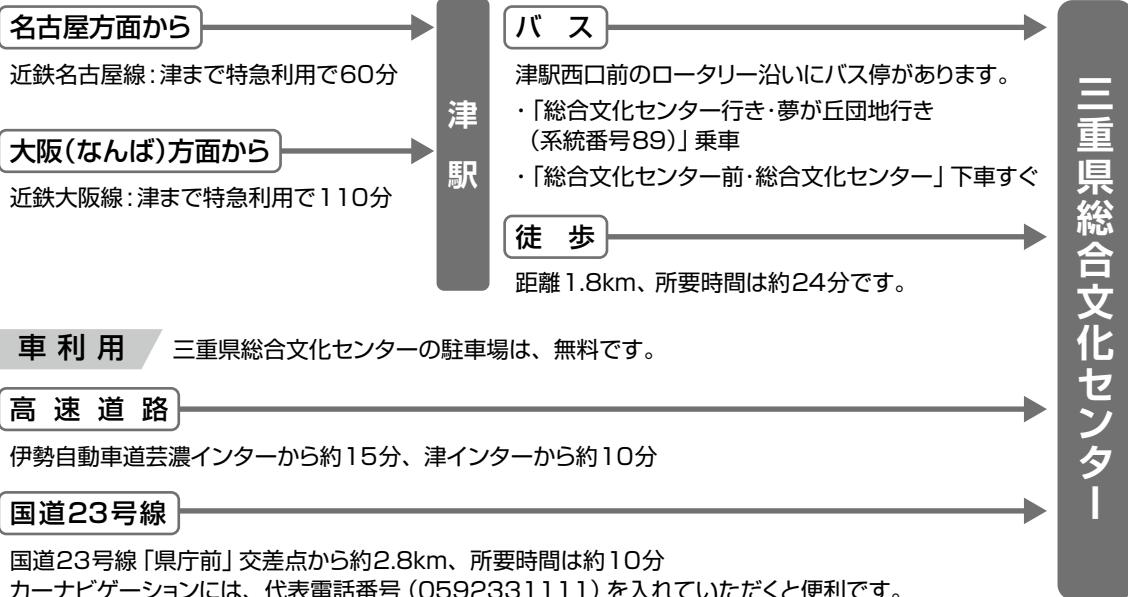
参加証は大切にご自身でお手元に保管してください。

尚、参加証の再発行は致しませんので、あらかじめご了承下さい。

会場アクセス図

◆アクセス方法

公共交通機関利用



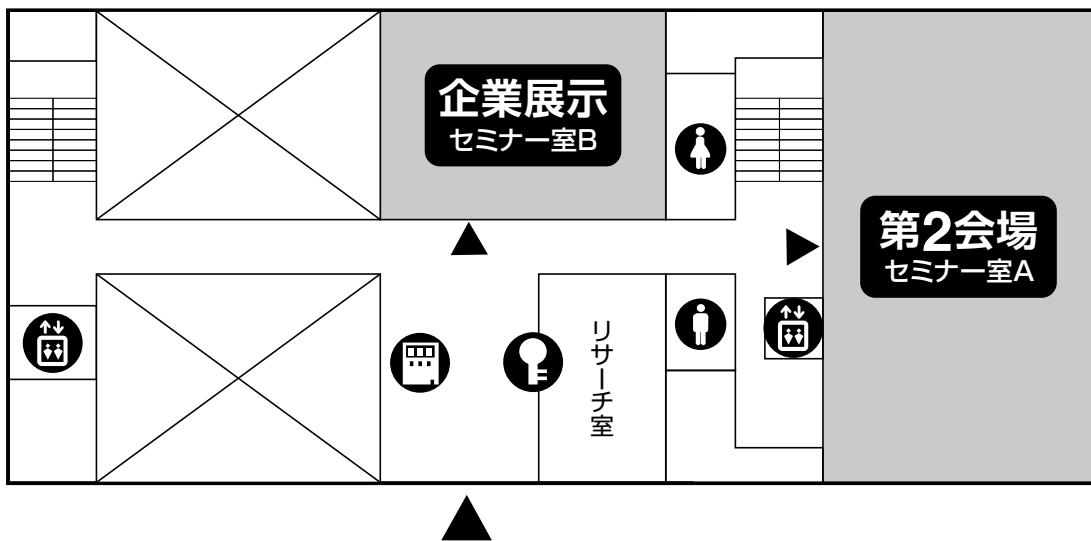
会場案内図



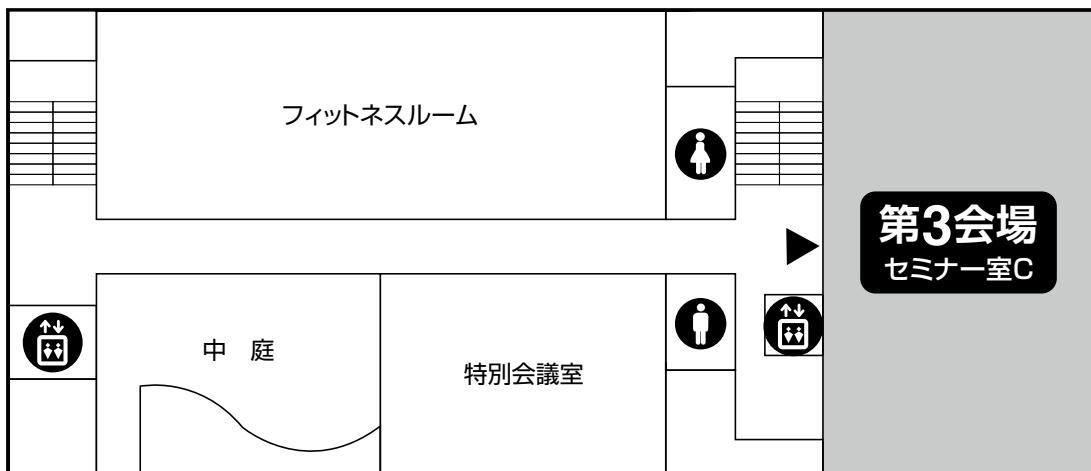
会場案内図

男女共同参画センター【フレンテみえ】

2F



3F



日 程 表

男女共同参画センター「フレンテみえ」

第1会場		第2会場		第3会場		展示会場
	1F 多目的ホール		2F セミナー室 A		3F セミナー室 C	2F セミナー室 B
9:20	9:20～ 受付開始					
10:00	9:50～10:00 開会式	10:00～10:50 臨床工学技士 一般演題1 5演題	10:00～10:40 看護師 一般演題1 4演題	10:00～10:40 臨床工学技士 一般演題2 4演題	10:40～11:20 看護師 一般演題2 4演題	10:00～15:00 企業展示
11:00	11:00～11:50 教育講演 カフ型カテーテル合併症 笹川 成先生 (横浜第一病院)		11:20～12:00 PT、OT、栄養士 一般演題1 4演題	11:20～12:00 医師・薬剤師 一般演題1 4演題		
12:00	12:20～13:10 ランチョンセミナー1 共催：協和キリン株式会社	12:20～13:10 ランチョンセミナー2 共催：キッセイ薬品工業 株式会社	12:20～13:10 ランチョンセミナー3 共催：日機装株式会社			
13:00	13:20～13:30 災害対策部会 活動報告					
14:00	13:30～14:20 特別講演 高齢末期腎不全患者における ACP、療法選択、CKMの現状と課題 岡田 一義先生 (川島病院)	13:40～14:20 臨床工学技士 一般演題4 4演題	13:40～14:30 看護師 一般演題3 5演題			
15:00	14:20～15:00 臨床工学技士 一般演題5 4演題	14:20～15:00 医師 一般演題2 4演題				
16:00	15:20～15:50 コーヒーブレイクセミナー 共催：株式会社三和化学研究所					
	16:00～16:15 表彰・閉会式					

プログラム

第1会場 (1F 多目的ホール)

9:50～10:00 開会式 当番幹事 三宅 真人 (JCHO 四日市羽津医療センター 腎臓内科)

10:00～10:50 臨床工学技士 一般演題1

座長：九鬼 弘和 先生 (済生会松阪総合病院 医療技術部 臨床工学課 係長)

1-1 エコーや VAI VT 経験2年目の臨床工学技士が考察する役割と今後の課題

○稻垣 太亮(CE)¹⁾、堤 陽平¹⁾、坂本 悠¹⁾、坂口 幸伸¹⁾、小川 明日香¹⁾、坂田 久美子¹⁾、
高橋 大輔¹⁾、三上 昌志²⁾、伊與田 義信²⁾

1)医療法人勢風会 津みなみクリニック、2)医療法人勢風会 亀山透析クリニック

1-2 透析スタッフの VA 教育の試み

～全スタッフによる VA 管理実現にむけて～

○森 健太郎(CE)、山下 和樹、中原 誠史、加藤 幸子、岡井 陽枝、細川 亮平、本多 康裕、
中西 道政、田之上 明子

医療法人博仁会 村瀬病院

1-3 当法人での薬剤コーティングバルーンの使用成績

○小倉 倭平(CE)¹⁾、三浦 隆史¹⁾、神田 翔²⁾、柳田 圭祐¹⁾、長谷部 佑二¹⁾、鬼頭 佳史¹⁾、
藤田 佳樹²⁾、川出 智史¹⁾、藤川 兼一¹⁾、出岡 悅子¹⁾、小林 薫²⁾、山本 和昇¹⁾、
中田 敦博¹⁾、伊藤 英明子¹⁾、伊藤 豊²⁾、岩島 重二郎¹⁾、河出 恭雅¹⁾、河出 劳助¹⁾

1)医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック、2)医療法人如水会 四日市腎クリニック

1-4 当院におけるインシデントレベル改善を試みて

○濱田 聖未(CE)、古市 綾乃、山崎 崇絢、大西 晃平、西坂 琢磨、清水 祐子、豊岡 美咲、
竹澤 有美子

医療法人友和会 たけざわクリニック

1-5 テナパノル塩酸塩の使用経験

○柳田 圭祐(CE)、川波 かおり、出岡 悅子、山本 和昇、中田 敦博、伊藤 英明子、
岩島 重二郎、河出 恭雅、河出 劳助
医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

11:00～11:50 教育講演

座長：安富 真史 先生 (地方独立行政法人 桑名市総合医療センター 腎臓内科 部長)

カフ型カテーテル合併症

笛川 成 先生 医療法人社団善仁会 横浜第一病院 バスキュラーアクセスセンター センター長

座長：小藪 助成 先生（特定医療法人暉純会 津腎クリニック 院長）

透析医療における最新リン管理 ～フォゼベルを含めて～

谷口 正智 先生 医療法人医心会 福岡腎臓内科クリニック 副院長

13:20～13:30 災害対策部会 活動報告

13:30～14:20 特別講演

座長：三宅 真人 先生（JCHO 四日市羽津医療センター 透析センター長）

高齢末期腎不全患者における ACP、療法選択、CKM の現状と課題

岡田 一義 先生 社会医療法人川島会 川島病院 腎臓内科 主任部長／
川島会血液浄化管理センター長

14:20～15:00 臨床工学技士 一般演題5

座長：三上 昌志 先生（医療法人勢風会 亀山透析クリニック 臨床工学部 臨床工学技士長 兼 事務課長）

5-1 VA 管理に超音波診断装置を使用して○稲垣 裕介(CE)、前川 了一、阿部 晋也、森 佑輔、戸谷 秀之、瀬田 直紀、川村 直人
医療法人社団主体会 主体会病院**5-2 シャント閉塞0を目指した取り組み**

～血管エコーでどこまでできるか？～

○鷺見 香織(CE)、安富 真史、西田 順二、三林 真也、古城 拓弥、片瀬 歩、鬼頭 知幹、
谷 龍慧、山川 舜、高野 ヒカル、武田 拓樹
地方独立行政法人 桑名市総合医療センター**5-3 上腕動脈血流量の測定はどのタイミングで行うのが適切か**○山下 浩輔(CE)¹⁾、安江 一修¹⁾、安田 芳樹¹⁾、大原 さなえ¹⁾、早川 沙希¹⁾、水野 大貴¹⁾、
山下 敏太¹⁾、三宅 真人²⁾

1) JCHO 四日市羽津医療センター 臨床工学部、2) 同 腎臓内科

5-4 VA エコーの技術習得への取り組み○谷渕 壮(CE)、山崎 真由香、大谷 美代子、黒木 洋子、三橋 笑里、福井 義尚、
松本 和隆
医療法人松徳会 花の丘病院

15:20～15:50

コーヒーブレイクセミナー

共催：株式会社三和化学研究所

座長：片山 鑑 先生（三重大学医学部附属病院 血液浄化療法部 病院教授）

カルシミメティクスによる透析患者の骨折対策

山本 卓 先生 新潟大学医歯学総合病院 血液浄化療法部 病院教授

16:00～16:15

表彰・閉会式

第2会場 (2F セミナー室 A)

10:00～10:40 看護師 一般演題1

座長：原田 久子 先生 (JCHO 四日市羽津医療センター 透析センター 看護師長)

1-1 高齢透析患者の摂食嚥下に対する看護介入の重要性について

- 落合 萌 (Ns)、山下 紗季、加藤 純子、小畠 仁美、窪田 英里子、須崎 直美、柳田 圭祐、長谷川 佑二、川波 かおり、出岡 悅子、山本 和昇、伊藤 英明子、岩島 重二郎、河出 恭雅、河出 劳助
医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

1-2 透析患者の足病変予防を目指して

～患者のフットケアに対する認識とセルフケアの実態を明らかにする～

- 長谷川 将代 (Ns)、鈴木 千鈴、中西 理恵
三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院 血液浄化センター

1-3 当院スタッフへのアドバンスケアプランニングについての調査

- 向井 裕香 (Ns)、伊藤 千尋、西川 千佳、柏木 加純、川村 順子、佐々木 太一
特定医療法人瞳純会 津腎クリニック

1-4 ADL・QOL が低下した透析患者とその家族へ多職種連携を活用した支援

- 山田 順子 (Ns)、中瀬 陽子、遠藤 悠華、三村 優実、加藤 幸子、岡井 陽枝、
森田 あゆみ、酒井 幾美、堤 仁美、田之上 明子
医療法人博仁会 村瀬病院

10:40～11:20 看護師 一般演題2

座長：堤 仁美 先生 (博仁会 村瀬病院 透析センター 師長)

2-1 体重測定関連インシデントを減らすための取り組み

- 坂口 歩 (Ns)¹⁾、寺本 千桃¹⁾、伊藤 章人²⁾、増田 智広³⁾
1)医療法人尚豊会 みたき総合病院 看護部、2)同 診療部、3)同 内科

2-2 皮膚に直接テープを貼らない回路固定の一例

食品用ラップとベルトを活用して

- 田川 初子 (Ns)

特定医療法人同心会 遠山病院

2-3 A 病院透析スタッフの災害に対する危機意識の現状分析結果について

- 鈴木 奈穂子 (Ns)
JCHO 四日市羽津医療センター 透析センター

2-4 当院における災害時の伝達訓練

○市川 清子(Ns)¹⁾、藤田 佳樹¹⁾、吉見 美穂子¹⁾、伊藤 英明子²⁾、伊藤 豊¹⁾、
岩島 重二郎²⁾、河出 恭雅²⁾、河出 芳助²⁾

1)医療法人如水会 四日市腎クリニック、2)医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

11:20～12:00 PT、OT、栄養士 一般演題1

座長：佐藤 恵里 先生（特定医療法人暉純会 津腎クリニック 透析・腎臓内科 慢性腎臓病療養指導看護師）

1-1 当院の血液透析患者における腎臓リハビリテーションの取り組み

○出口 美緒(OT)¹⁾、杉野 達也²⁾、豊谷 京子³⁾、根本 和門³⁾、岩田 航弥¹⁾、櫻井 翔¹⁾、
佐々木 惣祐¹⁾、町井 美那子³⁾、村瀬 美有紀⁴⁾、田矢 理子¹⁾、古郡 和徳³⁾

1)三重北医療センター菰野厚生病院 リハビリテーション科、2)鈴鹿中央総合病院 リハビリテーション科、
3)三重北医療センター菰野厚生病院 血液浄化センター、4)同 看護部

1-2 透析時運動療法におけるリンと骨格筋量の関係

○山川 誠人(CE)¹⁾、奥野 龍空¹⁾、岸本 力也¹⁾、藤山 智己¹⁾、仲森 陽菜¹⁾、瀬川 大雅¹⁾、
前野 文哉¹⁾、小津 陸斗¹⁾、平岡 あかね¹⁾、黒宮 俊¹⁾、片岡 祐也¹⁾、伊藤 史朋¹⁾、
柴田 翔子¹⁾、森 亨子¹⁾、佐々木 太一¹⁾、尾間 勇志¹⁾、清原 実千代²⁾、小藪 助成²⁾

1)特定医療法人暉純会 津腎クリニック 臨床工学部、2)同 内科

1-3 HD 患者に対して GLIM 基準を使用した栄養診断は有用か

○村上 清香(RD)、田川 久美子、北林 明代、大原 晴花

社会医療法人峰和会 鈴鹿回生病院 栄養管理課

1-4 血液透析患者のフレイル状態は3年後どうなるのか？

○瀬古 征志(PT)¹⁾、瀬田 直紀²⁾、伊藤 英樹²⁾、平野 裕三¹⁾、水谷 智恵美¹⁾、川村 直人³⁾、
伊藤 卓也⁴⁾

1)主体会病院 総合リハビリテーションセンター、2)同 透析センター、3)同 内科、
4)鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

12:20～13:10 ランチョンセミナー2

共催：キッセイ薬品工業株式会社

座長：藤見 奈央 先生（三重大学医学部附属病院 看護部）

あなたの知らない、透析そう痒症の世界

～痒いのは仕方ないとあきらめないで、軽減できるケアを探しませんか～

坂田 久美子 先生 医療法人勢風会 津みなみクリニック 総看護師長

座長：柴田 洋 先生（特定医療法人同心会 遠山病院 臨床工学部 臨床工学技士）

4-1 脳神経疾患と精神疾患を合併した透析患者への対応に苦慮した経験

○三浦 隆史(CE)、山下 紗季、渡邊 歩美、加藤 裕介、森 由美子、太田 静穂、東尾 依子、上條 貴子、山本 和昇、出岡 悅子、伊藤 英明子、岩島 重二郎、河出 恭雅、河出 芳助
医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

4-2 透析歴50年の2症例について

○瀬田 直紀(CE)、高畠 とも子、伊藤 英樹、水谷 益美、川村 直人
医療法人社団主体会 主体会病院

4-3 小児急性血液浄化療法(CBP)中における

加温法の違いによる分時熱損失量に関する実験的検討

○木屋 奈有里(CE)、佐生 喬、高濱 航、小島 功大、北川 直樹、阪 京香、中條 涼大、山田 昌子
三重大学医学部付属病院 臨床工学部

4-4 ハイブリッド透析患者の一症例

○山口 篤彦(CE)、堀 剛大、村岡 大輔、伊藤 寛則、池田 琢磨、中村 有里、水越 智哉
医療法人社団主体会 小山田記念温泉病院

座長：小里 大基 先生（伊勢赤十字病院 腎臓内科 副部長）

2-1 当院での血栓性閉塞に対する E-VAC[®]の手技と成績

○高橋 大輔(Dr)¹⁾、堤 陽平²⁾、坂本 悠²⁾、小川 明日香²⁾、坂田 久美子²⁾、伊興田 義信³⁾
1)医療法人勢風会 津みなみクリニック、2)同 シャント管理チーム、3)医療法人勢風会 亀山透析クリニック

2-2 当院における透析用長期留置カテーテルの使用経験

○福井 義尚(Dr)¹⁾、石川 英二²⁾、野田 真理子²⁾、渡邊 麻衣子²⁾、松本 和隆³⁾
1)済生会松阪病院、2)同 腎臓内科、3)花の丘病院 内科

2-3 バスキュラーアクセスの作製が困難となったため

血液透析導入後20年目に腹膜透析へ移行した1例

○細川 亮平(Dr)、青木 夕紀、村瀬 直人、本多 康裕、中西 道政、田之上 明子、
村瀬 泰史、井阪 直樹
博仁会 村瀬病院

2-4 血液透析および腹水濾過濃縮再静注法の同時実施をした1例

○二宮 隆仁(Dr)¹⁾、増田 智広²⁾
1)みたき総合病院 総合診療科、2)同 腎臓内科

10:00～10:40 臨床工学技士 一般演題2

座長：瀬田 直紀 先生(主体会病院 透析センター 技士長)

2-1 日機装 Si (Smart & intelligent) 連携機能導入による節液効果

- 佐野 雄作(CE)¹⁾、神田 翔¹⁾、林 駿佑¹⁾、小林 薫¹⁾、藤田 佳樹¹⁾、吉見 美穂子¹⁾、
伊藤 英明子¹⁾、伊藤 豊¹⁾、岩島 重二郎²⁾、河出 芳助²⁾、河出 恭雅²⁾
1)医療法人如水会 四日市腎クリニック、2)医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

2-2 東レ・メディカル社製透析システムによる、節水、節電、透析液節液効果の検討

- 松本 大介(CE)、渡邊 弘毅、澤野 愛弓、山本 真一、小崎 真理子、綿井 幸司、
谷田 精久、山本 芳央、亀田 陽一
医療法人泉澄会 亀田クリニック

2-3 アペレ社製 ACT 測定装置 CA-300(以下、CA-300)を用いた体重当たりの適正ヘパリン投与量の検討

- 本多 越次(CE)¹⁾、奥村 直政¹⁾、岩井 勇樹¹⁾、伊藤 章人¹⁾、上野 俊¹⁾、増田 智広²⁾
1)医療法人尚豊会 みたき総合病院、2)同 内科

2-4 日機装社製血液量モニタ BVPlus を用いた貧血管理の可能性について

- 奥村 直政(CE)¹⁾、岩井 勇樹¹⁾、伊藤 章人¹⁾、本多 越次¹⁾、上野 俊¹⁾、増田 智広²⁾
1)医療法人尚豊会 みたき総合病院、2)同 内科

10:40～11:20 臨床工学技士 一般演題3

座長：尾間 勇志 先生(特定医療法人暉純会 津腎クリニック 臨床工学部 臨床工学部長)

3-1 当院における洗浄方法の検討

- 鬼頭 佳史(CE)、窪田 英里子、竹田 健吾、柳田 圭祐、藤川 兼一、山本 和昇、
出岡 悅子、中田 敦博、伊藤 英明子、岩島 重二郎、河出 恭雅、河出 芳助
医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

3-2 安全かつ効率的な透析装置洗浄剤補充方法の考案と評価

- 濱田 達也(CE)
伊勢赤十字病院

**3-3 当院における在宅血液透析
導入を経験して**

- 三林 真也(CE)、鬼頭 知幹、和田 香織、万木 哲朗、小崎 健司、西田 順二、安富 真史
独立行政法人 桑名市総合医療センター

3-4 慢性透析患者における難治性下肢潰瘍へのNPWT導入例

○水谷 歩夢(CE)¹⁾、柴田 洋¹⁾、三宅 智紀¹⁾、波田 光司¹⁾、篠井 直樹¹⁾、竹内 敏明²⁾、
西村 広行²⁾、佐藤 圭³⁾

1)特定医療法人同心会 遠山病院 臨床工学部、2)同 内科、3)桑名市総合医療センター 循環器内科

11:20～12:00 医師・薬剤師 一般演題1

座長：増田 智広 先生(医療法人尚豊会 みたき総合病院 腎臓内科・透析センター長)

1-1 新規リン吸着薬テナパノルの使用経験

○西田 順二(Dr)、山川 真由子、三浦 翔子、横井 友和、安富 真史
地方独立行政法人 桑名市総合医療センター

1-2 後天性血友病Aを発症した維持血液透析患者の1例

○田之上 明子(Dr)、青木 夕紀、村瀬 直人、細川 亮平、本多 康裕、浦城 聰子、
中西 道政、村瀬 泰史、吉村 平、井阪 直樹
医療法人博仁会 村瀬病院 内科

1-3 PD in Mie (peritoneal dialysis in Mie)立ち上げと初年度3施設のデータ

○村田 智博(Dr)
三重大学医学部附属病院

1-4 ロキサデュstattによる中枢性甲状腺機能低下症により意識障害を呈した1例

○大平 茜(Ph)¹⁾、三谷 宜靖¹⁾、水谷 益美²⁾、瀬田 直紀²⁾、川村 直人³⁾
1)医療法人社団主体会 主体会病院 薬剤部、2)同 透析科、3)同 内科

12:20～13:10 ランチョンセミナー3

共催：日機装株式会社

座長：安田 芳樹 先生(JCHO 四日市羽津医療センター 臨床工学部)

モニタリング技術による透析医療の更なる向上

森實 篤司 先生 ホスピーグループ腎透析事業部 臨床工学部 統括部長

13:40～14:30 看護師 一般演題3

座長：吉見 美穂子 先生(医療法人如水会 四日市腎クリニック 看護師長)

3-1 病棟看護師の内シャント管理における知識と不安の調査

○寺下 亜紀(Ns)
公益社団法人地域医療振興協会 三重県立志摩病院

3-2 手術器具の効果的な予備洗浄方法についての検討

○西山 真澄(Ns)、坂田 久美子、中瀬 千幸、坂口 幸伸、高橋 大輔
医療法人勢風会 津みなみクリニック

3-3 腎臓リハビリテーション1年経過後の報告

○根本 和門(Ns)、町井 美那子、豊谷 京子、篠之内 良、岩田 航弥、出口 美緒、櫻井 翔、
佐々木 惣祐
JA 三重厚生連 三重北医療センター 茗野厚生病院

3-4 透析患者に対するダーブロックの使用経験

○汐崎 くるみ(Ns)
医療法人淳風会 熊野路クリニック

3-5 透析患者の服薬事例

他職種と連携し服薬アドヒアランス向上を目指した2症例

○池田 絵美(Ns)、藤田 宜子、伊藤 祐亮、高畠 とも子、川村 直人
医療法人社団主体会 主体会病院

三重県透析研究会 災害対策部会 活動報告

三重県透析研究会 災害対策部会

尾間 勇志 濑田 直紀 九鬼 弘和
安富 真史 米村 重則 小藪 助成

2023年7月に三重県透析研究会の部会として災害対策部会が立ち上げられ、2007年からの三重県透析施設災害対策委員会の活動を引き継ぎ、その活動について昨年の学術集会で報告させていただきました。

主な活動としましては、災害時の情報共有ツールとして三重県透析研究会災害時メーリングリストを活用しており毎年情報伝達訓練を実施しています。災害時メーリングリストには透析施設61施設の全施設が三重県透析研究会へ加入し登録されており、105名登録されています(2024年10月現在)。また、各施設の災害担当者の登録メールアドレスのブラッシュアップも毎年おこなっています。そのほか、地震や風水害などの自然災害発生時の情報共有もメーリングリストを活用しおこなっています。

訓練の施設参加率は75%程度で十分とは言えない結果であるため、参加率を上げるための呼び掛けと定期的な訓練の実施を定着させ災害時に備えていく必要があります。大規模災害時において、地域内ネットワークによる施設間の情報共有と支援について連携体制の強化を図ると同時に、行政機関など広域的な連携体制を構築することも重要となってきます。迅速かつ円滑な災害対応につなげるため、今後とも三重県透析研究会災害対策部会の活動にご理解、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

2025年2月1日に実施が予定されているDMAT中部ブロックの災害訓練に併せて、当部会も訓練への参加を予定していますので重ねて各施設のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

特別講演・教育講演のご案内

特 別 講 演

第1会場 (1F 多目的ホール)

13:30~14:20 座長: JCHO 四日市羽津医療センター 透析センター長 三宅 真人 先生

高齢末期腎不全患者における ACP、療法選択、CKM の現状と課題

社会医療法人川島会 川島病院 腎臓内科 主任部長／川島会血液浄化管理センター長
岡田 一義 先生

教 育 講 演

第1会場 (1F 多目的ホール)

11:00~11:50

座長: 地方独立行政法人 桑名市総合医療センター 腎臓内科 部長 安富 真史 先生

カフ型カテーテル合併症

医療法人社団善仁会 横浜第一病院 バスキュラーアクセスセンター センター長
 笹川 成 先生

ランチョンセミナーのご案内

第1会場 (1F 多目的ホール)

12:20～13:10 ランチョンセミナー1

共催：協和キリン株式会社

座長：小藪 助成 先生(特定医療法人障純会 津腎クリニック 院長)

透析医療における最新リン管理 ～フォゼベルを含めて～

医療法人医心会 福岡腎臓内科クリニック 副院長

谷口 正智 先生

第2会場 (2F セミナー室 A)

12:20～13:10 ランチョンセミナー2

共催：キッセイ薬品工業株式会社

座長：藤見 奈央 先生(三重大学医学部附属病院 看護部)

あなたの知らない、透析そう痒症の世界 ～痒いのは仕方ないとあきらめないで、 軽減できるケアを探しませんか～

医療法人勢風会 津みなみクリニック 総看護師長

坂田 久美子 先生

第3会場 (3F セミナー室 C)

12:20～13:10 ランチョンセミナー3

共催：日機装株式会社

座長：安田 芳樹 先生(JCHO 四日市羽津医療センター 臨床工学部)

モニタリング技術による透析医療の更なる向上

ホスピールグループ腎透析事業部 臨床工学部 統括部長

森實 篤司 先生

コーヒーブレイクセミナーのご案内

第1会場 (1F 多目的ホール)

15:20～15:50

コーヒーブレイクセミナー

共催：株式会社三和化学研究所

座長：片山 鑑 先生(三重大学医学部附属病院 血液浄化療法部 病院教授)

カルシミメティクスによる透析患者の骨折対策

新潟大学医歯学総合病院 血液浄化療法部 病院教授

山本 卓 先生

企業展示のご案内

展示会場 (2F セミナー室 B)

10:00～15:00

〈展示出展企業〉

- ・株式会社カネカメディックス
- ・株式会社ジェイ・シー・ティ
- ・東亜新薬株式会社
- ・東レ・メディカル株式会社
- ・日機装株式会社
- ・ニプロ株式会社
- ・株式会社ホーマーイオン研究所
- ・メディキット株式会社

(五十音順)

透析関連の機器・機材・薬品・食材などを展示しております。

情報収集・交換の場にお役立てください。

一般演題
抄 錄

第61回三重県透析研究会学術集会 プログラム

当番幹事：三宅 真人 JCHO 四日市羽津医療センター 腎臓内科

事務局：三重県透析研究会
三重大学医学部附属病院 血液浄化療法部内
〒514-8507 三重県津市江戸橋2-174
TEL：059-231-5403 FAX：059-231-5569
E-mail：renal@med.mie-u.ac.jp

出版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>

